



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともそう

◆点鐘：小林 恵一 会長 ◆ロータリーソング：四つのテスト
◆司会：高嶋 俊幸 副 S.A.A. ◆会場：大沼デパート



Yamagata West Rotary

第2829回例会

平成30年11月26日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



本日のゲストをご紹介いたします。第2800地区・財団委員会、補助金・奉仕プロジェクト小委員長米沢RC所属 和田 實さんです。ようこそお越し下さいました。歓迎申し上げます。後程、本日の卓話を宜しくお願い致します。

さて、遡って今月3日は、友好クラブ高知南RCの60周年記念式典が開催され、我がクラブは28名で出席して参った経緯ですが、先方の前田会長から丁寧な感謝のメールが届いております。姉妹クラブの山形西RCから28名もの会員及び奥さま方に参加して頂き、式典及び祝賀会に華を添えて頂き感謝しております。皆様に宜しくお伝えきたいとの内容でございます。

高知南RCの60周年は、名実ともに大変充実した素晴らしい内容の式典だったと思います。今後とも交流を通して友好を深め合って参りたいと思います。

さて、今から159年前の1859年11月24日は、ダーウインの進化論「種の起源」が刊行された日です。日本でいえば江戸時代末期の安政6年のことです。

20年ほど前、さくらんぼの開発輸入の仕事で南米チリまで行って来る間、大変なロングトリップでして、途中孤独なものですから「進化論」に関する本を携行し、機内や現地ですら暇に任せて読んだことがありました。もともと「さくらんぼ」等の果樹が生育し実を付けるプロセスを観ておりましたので、自然や動植物に関心があった方だと思います。何分私は、自然と向き合っていると飽きることがありません。

一方、ここ数年来新聞のコラムに掲載される、生物学者・福岡伸一さんの「生命観」について興味深く読ませて貰っています。

福岡さんが、生命を捉えるときキーワードとしているのは「動的平衡」という概念です。生命は、たえず分解しつつ、常に合成しつづける。この危ういバランスの上にかろうじて成り立っている秩序が生命現象であると。恒常的に見えて二度と同じ状態はない。大きく変動しないために、いつも小さく変わり続ける。

動的平衡は決して新しい考え方ではない。

有名な方丈記の冒頭の一文、「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず、淀みに浮かぶうたかたは、か

つ消えかつ結びて、久しくとどまりたる例なし。世の中にある、人と栖と、またかくのごとし。

鴨長明は800年前にすでにその本質を知っていた。

鴨川は今も京都の街を流れている。でも流れている水は常に違う。鴨川という名称は時間のなかで止まっているが、その実質である水はひたすら入れ替わる。

「動的平衡」とは、私たちが日々、新陳代謝を繰り返しながら生きているように、「大きく変わらないために、常に小さく変化し続けること」。福岡さんの「生命観」を表すキーワードです。生命が絶え間なく生き続けているのは、ある遺伝子が欠落しても別の遺伝子が補い、全体のバランスを保っているから。

「われわれの身体は7年で物質的には完全に入れ替わる」と養老孟司の本にもあったと思います。いつも同じ自分であるようで、実は入れ替わっている。

組織を守ろうとしたら組織を壊さなくてはいけない、生命現象が教えてくれるサステナビリティ(持続可能性)の在り方です。

未来に向かってロータリークラブを持続させるヒントになるかもしれません。

幹事報告

菅原 茂秋 幹事

●高知南ロータリーさんからメールだけではなくて、文書でも感謝状をいただいておりますので、ご報告をさせていただきますと思います。

委員会報告

親睦・家族委員会

武田 岳彦 委員長

来たる12月17日月曜日、山形グランドホテルにおいて、クリスマス家族会を開会いたします。今年度はジャズボーカルでクリスマスの雰囲気盛り上げ、また恒例の大抽選会を予定しております。ご家族みんなで楽しめる内容で、今、鋭意、準備を進めておりますので、何卒、1人でも多くのご参加をよろしくお願いをいたします。

また、後ほど文章を添えますが、例年通り、抽選会の景品のご協賛のほうを、是非お願いを致したく重ねてお願いを申し上げます。

「ロータリー財団について」

RI第2800地区 R財団委員会
補助金・奉仕プロジェクト小委員長

和田 實氏



山形西クラブさんにはロータリー財団に多額の寄付など、いろんな面でのご協力を賜りまして本当にありがたく思っております。この席を借りて日頃の皆さまの財団へのご支援・ご協力に対して厚く御礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。

財団は昨年、2017年に100周年を迎え、発祥の地アトランタで盛大に100周年のセレモニーが行われました。

今日、皆さんのお手元に色付きのチャートと、それから私の書いた「財団」という1枚ずつの紙があります。これを皆さまにお持ちした理由がそれなりにあるんです。というのは、2016年の規定審議会、この年の規定審議会は非常に盛り沢山で、ロータリーの1つの転換期になった内容だとは思いますが、その内容は今日の私の話の趣旨じゃないんですね。その結果として2016年度の手続要覧、皆さんもお持ちと思いますが、こんな薄い雑誌になってしまったわけですね。つまり、これが今の規定集になります。

前の手続要覧は、前の年までは、新しい方が入ればですね、その手続要覧を紐解いていくと、財団のこともクラブ奉仕のことも4大奉仕、5大奉仕の話も、いろんなことが皆わかったわけです。なのでロータリアンにとっては辞書みたいな存在だったわけです。

これがなくなったということで、私どもの委員会は、新関さんが作った、その色刷りのチャート、この1枚で大体ロータリーの財団の流れが全部わかるということを知恵絞って作ったんです。それと今日のお話のネタにもなるということで、私が簡単にその歴史や、これからお話する未来の夢計画など、そんなお話を載せたということなんです。これをお持ちいただければ、少なくとも財団のファイルのところに入れておいていただければ、財団でなにかあったなど、なにか知りたいことあれば、これを出してくれば大体わかるかなということを用意した次第です。

この100年を迎えるに当たって、財団が一応考えたのは「未来の夢計画」というのをスタートさせたわけですが、これは年次寄付の半分をDDF、地区活動資金として3年後に地区に戻す、それでその分の裁量権を地区を通して与えることでクラブの活性化を図るといった目的です。

裏は、増えていくロータリー財団の仕事をできるだけ地区に分散して、仕事を減らすし仕事の合理化を図るのが大きな目的だと思います。それで「未来の夢計画」がスタートしたわけです。

当地区の場合は2013-14年度からスタートしまし

た。今の財団委員長の新関さんがガバナー年度からスタートして、この時に地区の財団の編成も変わりました。それで委員会では「補助金・奉仕プロジェクト小委員会委員長」という名称がちょっと長くて自分もあまり好きでなくて、「未来の夢計画実行委員会」と言ってもらえたほうがいいのかないかなという気がしています。

このプログラムで、もう6年経ったわけですが、幸いなことに、返ってきたDDFの半分が地区補助金ということで各クラブが自由に使えるという内容なんです。この地区補助金は、幸いなことに毎年大体予算額の5割増し程度の申請が来て、委員会で一生懸命配分するんですが、なかなかその申請額どおりの配分でできず皆さまにはご迷惑かけてるのが補助金の実情です。

地区補助金の状況についてそこに簡単に書いてみましたが、この3年間で大体地区補助金がどのくらいになるのかと言いますと、大体毎年目標が1人150ドルでスタートするわけですが、150ドルで大体1,600人から1,700人弱の会員数がこの2800地区にはいるんですけど、もしも150ドルが、パーヘッドが満額になれば、大体24、5万ドルなきゃいけないんです。ですが、残念ながら当地区の実績は大体15万ドルから16万ドルぐらい。ということは、山形西クラブさんにご負担いただく分がなんと1割、少ない年でも5%、多い年だと10%になるということで、地区の財団は山形西クラブさんがないと存在し得ないという現実であります。

ここに数字を持ってきてますが、大体そんなことなんで、その15、6万ドルの半分の半分ですから、大体4万ドル前後が地区補助金の予算になるわけです。為替レートの問題でこの3年間の数字が書いてありますが、ほとんど同じ金額ですが為替レートの影響もあるので、390万円ぐらいから400数十万円ぐらいになり、大体毎年30件前後の申請をいただいて、その内訳で言うと社会奉仕がもう圧倒的多数です。それから教育的な部分が3分の1程度、健康に関わる、保健の部分が数パーセントという状況が現実であります。

ということで、この地区補助金の中で、地区補助金は、キャリアオーバーもできませんし、キャリアオーバーするほど予算が余るわけでもないの、非常にうまく回ってるんですが、ほぼ同額のグローバル補助金というのがあって、この補助金が使いきれないというのが今の現状なんです。

それで、グローバル補助金はどうなってるかというと、この3年間でわずか3件です。グローバル補助金は地区補助金と違って、海外のプロジェクトを中心に、なおかつその用途目的が財団の重点分野、つまり「平和と紛争予防／紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」と、この6つの分野に限られるわけです。

なおかつ海外のクラブと組んで申請しないといけないんです。ただ、良い点は、地区補助金の場合は毎年、新年度の方がご苦労されるとおり、自分の年度がスタートする前の3月末までに地区に申請しなければいけない。

つまり、7月から始まる新しい年度に現金が財団から届くには、遅くとも5月末までに財団へ地区として申請

しないといけないんです。そうしないと7月以降の新年度に間に合わなくなり、残念ながら3月末に申請を入れていただかないといけない。次年度も2月のPETSの2日目に財団のセミナーを開かせていただいて、その席で次年度、大久保年度の地区補助金の申請基準等々を新しい年度の方々にご説明させていただきます。

一方、グローバル補助金はタイムリミットがありません。なのでいつでも申請できます。地区補助金はキャリアオーバーできませんが、グローバル補助金は幸いにキャリアオーバーできるんです。なので使わないでずっと貯まっています。

その場合どうなるかという、ポリオや、世界平和財団などの名目で、万ドル単位で、要するに上のほうから「こっちに寄せせ」という指示が出てしまうので、やはりそちらのほうに払うことになってしまいます。

それでたまたま、グローバル補助金はこの6年間で3件の実績があります。3件実績ありますが、これは全部同じクラブなんです。天童東ロータリークラブ。たまたまこの天童東ロータリークラブさんは、タイのスリウォンロータリークラブと以前から浄水器を僻地に送るというプログラムをずっと一緒にやってきたんです。どのようにしてタイのクラブとできるのかという、タイのスリウォンロータリークラブは日本人主体のロータリークラブなんです。なのでコミュニケーションが非常に取りやすく、最初が2014-15年度に総額31,803ドル、グローバル補助金のプログラムをやりました。

これはわからなかったんで、天童東さんに1,500ドル出してもらい、地区のグローバル補助金、DDFを15,000ドル、それとタイ側の15,000ドルと合わせて31,000ドルちょっとにしてプログラムをおこなったということです。

グローバル補助金の場合、別にクラブの負担がなくともいいんです。地区補助金はクラブの負担が中心で、少なくとも総プロジェクトの3分の1はクラブで負担してくださいというお願いをしています。グローバル補助金の場合にはクラブのお金はいりません。それで財団の了解が取れば、当地区と相手の地区で半々ずつ出せるということで、2017-18年、今回は2800地区のDDFを35,000ドル、それからタイのDDFを35,000ドル、合わせて70,000ドルで引き続き継続事業だったタイのスリウォンロータリークラブと組んだ僻地への浄水器の設置プログラムが2回目なんです。

初年度の際はサカイアキラさんの年度で、私も財団の委員としてタイに行って浄水器の設置をしました。大体地方の小学校に浄水器付けるんですが、そうするとその村全体が、地下水以外で、浄水器を通して飲める水が飲めるということで、村長以下、村民みんなが出てきて大歓迎になるようなプログラムです。

今年は何をしているかという、モンゴルの僻地に幼稚園を国が作っているんですが、そこに洗面所、浄化槽を作ろうと。モンゴルは皆さんもご存知のとおり冬は極端に寒いところです。大体洗面所は建物のはなれにあって、子どもたちは行くのが怖いということです。建物と洗面所を廊下でつないで浄化槽を付けて、水洗のトイレ

を差し上げようということで、地区のDDF35,000ドル使って、73,090ドルのプログラムをこれから、今実施してるところです。

これがグローバル補助金なんです。このグローバル補助金がいいのは、先ほど申し上げたように、自分のクラブのお金はいらないということです。タイミングはいつでもいいが海外のクラブと組まなければいけない。

たまたまそのグローバル補助金で奨学生を出そうということで、実は地区からお願いして、結城さんにご迷惑をかけることになったんですが、このクラブで学生さんのホストになっていただくプログラムを1回やりました。

これはお詫びに来てないんで申し訳ないんですが、この学生さん、優秀な方で、アメリカに留学するということがグローバル補助金でなんとかしてあげようと思ったんですが、語学力が十分でなくて、何年受けても受からないということになってしまい、西クラブさんにご迷惑かけてしまいました。この席をもってお詫びしたいと思い、どうもすみませんでした。

この財団の学生さんはずっと出せなかったんですが、いろいろほかの地区を聞いたところ、結構財団で財団の奨学生出していました。よく聞いてみると、平和や健康など、財団の志向してる分野以外の学生もいるんです。昔の財団の奨学生みたいな恰好で出しています。しかも地区補助金ならいいんですが、グローバル補助金で出していました。どうしてだろうといろいろ調べてみたところ、手続き上、あるいは文書上この財団の目的に合ったようなペーパーワークをして学生さんは実は出していることがわかったんで、私どももそれならばトライしようということで、今までの、昔の財団で面倒を見る、海外に出ていこうとしてる学生さん、優秀な方いたら地区のほうにご相談いただけますか。専門分野がなんであれ、本人にも協力いただいて、ペーパーワークさえきちんとできれば財団の奨学生としてグローバル補助金を使うことができますので、ぜひ候補の学生がいたら検討してみてくださいれば幸いです。

突然話変わりますが、財団というポリオですよね。今や2か国、パキスタンとアフガニスタン、この2つだけが残って、最後まで残ったナイジェリアは2016年の4件以降ゼロになりました。

財団がおこなっているポリオのプログラムは、皆さんもご存知のとおり、ポリオは乳幼児が感染します。各国で予防接種のシステムがきちんと作れば、ポリオの発生をポリオフリー、ゼロになるわけです。それでポリオゼロを目指して財団はお金と人と労力を使ってるわけです。パキスタンやアフガニスタンは、ご存知のとおり政情が安定してません。いくらよそにいろいろお金かけてシステムを作っても、継続性がなく予防注射の接種のシステムが根付かないんです。インドは、発症がなくなってしまう随分なります。

皆さん、ポリオサバイバーという言葉、ご存知ですか？ポリオは、一旦感染すると治らないんです。筋肉あるいは骨をその他がどんどん萎縮していき、その進行を萎縮していく進行を止める手段。なので薬や装置ですね。そういうのは進んでいるんですが、根治させること

はできません。

ポリオに感染された方で、治療しながら生活している方をポリオサバイバーと言うそうです。日本にも、ポリオの会がありまして、現在、小山万里子さんという女性の方が会長をされていて、2015年、財団で初めて東京の芝・増上寺でポリオセミナーを日本全国の会員を集めて開きました。私も財団に籍を置いていたので参加させていただき、会長の講演などにポリオサバイバーの方、それから十数人の車いすのポリオ患者の方が参加されました。

私は未だにタバコがやめられないダメな男なんですけど、そのポリオサバイバーの中にも、喫煙者がいらっしゃいました。世界大会行ってもそうなんですけど、喫煙者は片隅に集められ、そこで喫煙者同士いろんなその会話が出来るんです。そこでポリオサバイバーの方ともお話をしたんですが、その男性の方は、関西系の大学の教授をされている方で50代の前半。それで、家族は何か...したんだけど、ポリオにかかると、自分1人じゃ生活できないと。なので家族の介護を受けながら生活していました。段々、介護してもらっている兄弟あるいは親などが高齢化していくなか、これから5年先、10年先、自分がどうやって生きていったらいいんだろうと悩んでおりました。

日本ポリオの会は、ネットを見れば分かると思って調べたんですが、だいぶ前に4万何千人の会員がいたらしいですが、今現在、何人の会員がいるのか分かりませんでした。残念というのか、幸いというのか、わたしは山形県でそのポリオサバイバーの方にお目にかかったことがありません。

多分、日本で数万人のポリオサバイバーの方がおいでになるんだろうというふうに思ってます。それで、せっかくの良い機会なので、皆さん、新しいポリオの感染を撲滅するポリオの運動があるんですが、そういう、感染しても頑張りながら生きているポリオサバイバーの方々がいて、日本にもおいでになるということをご理解いただければなということでお話しました。

実は来年度の大久保年度は、山形クラブの長谷川さんの年度のDDFが返ってくるわけですが、長谷川さんの年度は19万ドル強の財団の寄付が集まりましたので、だいたい4分の1で、5万ドル程度補助金で使えるんです。

さらに、財団のほうから入ってきたのは、2年間に渡ってDDFで戻す金額を20%増加するという話が10月の18日に我々のところにメールがきました。当地区の場合は2万233ドル増加させるということで、次年度の大久保年度に1万ドル、それから、次のサイトウ年度に1万ドル。つまり、来年度は例年よりも、ドルで言うと2

万ドルほど要するに余計に地区補助金を使えるという年度になります。当然、グローバル補助金もそうですね。なので、先ほどお話ししたようなあるいは400万円~600万円、あるいは700万円程度の地区補助金を使えると思いますので、どうぞ、地区補助金の申請もよろしくご検討いただければと思います。

ニコニコBOX

細谷伸夫さん / 11月16日国際ロータリー会長代理としてRI第2740地区(長崎、佐賀)の地区大会に出席してまいりました。大きな粗相もなく無事任務を果せ、ほっとしております。所変れば品変るで、1日の大会でした。ただ記念事業で地区内高校生14名をハワイ大学へ10日間の短期留学というプログラムに感動しました。

中山眞一さん / 天皇陛下の拝謁を賜りました。身に余る光栄に感激しております。

平吹和之さん / 去る9日、夫婦で赤坂御苑にて天皇陛下ご夫婦皇太子ご夫妻、始め皇族の方々にお会いでき、また前日皇太子様が農業担い手サミットで山形に来られ食べ物が大変美味しいところと、雅子様も山形に行きたかったこと等を直接お話し頂きました、一生の思い出になった一日になりました。

武田元裕さん / RI2800地区 和田委員長様、いつもお世話になります。

戸田正宏さん / 11月23日勤労感謝の日の朝、無事に男子が誕生!小生にとり6番目、内孫としては2番目の誕生に戸田家全員、喜んでます。

清野伸昭さん / 仙台で行われたクイーンズ駅伝でパナソニック2連覇を祝ってニコニコします。

大西章泰さん / 去る、10/28の某銀行のゴルフコンペで優勝いたしました。県外者のハンデのお陰もあつたのですが蔵王CCを攻略できた気分になって大変うれしかったです。

RI2800地区財団補助金奉仕プロジェクト委員 海和浩運さん他 / 地区でも大変お世話になっております。本日は「ロータリー財団について」卓話楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

佐藤英一さん / おかげ様をもちまして、篠田産婦人科医院として開院以来、来る12月2日に百周年を迎えることとなりました。これまで一世紀の永きにわたり地域で医療を提供していただくことができましたのも、ひとえに支えてくださった当クラブの会員の方々をはじめ地域の皆様のお陰と感謝申し上げます。これからも当法人の理念に基づき、地域の皆様の健康を支え続けられる様邁進します。今後ともご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。本日は、出席出来ず申し訳ございません。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (11/26)	97名	58名	修正出席 (10/21)	97名	83名	79名	95.18%
メイクアップされた会員	(山形中央) 吉田 福平、五十嵐 信、大西 章泰、早川 徹、風間 義朗、橋本 徳光 (山形) 伊藤 歩、安部 弘行 (山形東) 大城 誠司、佐藤 英一、伊庭 公也、風間 義朗、橋本 徳光、晋道 純一、戸田 正宏、中山 眞一、長岡 壽一、小林 廣之						